



# 平成23年度在宅医療連携拠点事業成果報告

平成24年3月8日

(株)ケアーズ 白十字訪問看護ステーション  
暮らしの保健室

# 本日の発表内容

## ■活動実績

- **多職種連携の課題に対する解決策の抽出ー5つの取り組み**
  - ① 新宿区牛込地区の在宅連携会議@在宅支援診療所
  - ② 在宅療養シンポジウム(新宿区との共催)@区民ホール
  - ③ 在宅療養地域学習会(新宿区との共催)@介護事業所
  - ④ 多職種連携のためのケース勉強会@暮らしの保健室
  - ⑤ 個別相談ケースにおける地域ケア会議@暮らしの保健室
- **在宅医療従事者の負担軽減の支援**
  - ① 主治医を支える24時間体制のためのネットワークづくり  
訪問看護が調整役となり、診ー診連携による24時間体制の構築
  - ② チーム医療のための情報共有体制  
看護師による相談活動から、病ー診ー介護連携を実現  
地域の組織間での医療情報共有システムの開発支援・モニタリング
- **効果的な医療提供のための多職種連携**
  - ① 多職種連携のためのケース勉強会(暮らしの保健室での連携ケース)
  - ② 個別相談ケースにおける地域ケア会議を開催

■ 拠点の介護支援専門員の資格を持つ看護師の役割→上記ケースで説明

■ 拠点が行う在宅医療の連携等の有用性→上記ケースで説明

■ 拠点が行う在宅医療の連携等の課題や改善策

# 多職種連携のための5つの連携会議を開催

※看護職が地域のハブとなつてすすめている

## ①牛込地区在宅患者を考える会 (地区医師会とタイアップ)

6月15日

9月10日

3月

今後も  
継続



## ②在宅療養シンポジウム (新宿区や地域病院との連携)

8月 4日 牛込区民センター

3月 10日 飯田橋レインボーホール

## ③在宅療養学習会 (新宿区との連携・区民公開講座)

7月15日 暮らしの保健室(25名)

11月16日 高齢者福祉施設(26名)

1月30日 特別養護老人ホーム(36名)

在宅医療についてのテーマ

介護施設や地域の施設で開催



厚生労働省「在宅医療連携拠点事業」

「この町で健やかに暮らし、安心して逝くために」

長期は家で…と希望する人に、家族は、医療者は、福祉従事者は、一体何が出来るでしょうか？どうしたら、安心して暮らし続けることが出来るのでしょうか？

実際に、ご自宅で看取られたご家族に、何か不安だったか、どうしてもらったら安心出来たか、その経験を話して頂き、医療や福祉がどう関わるべきか、[誰やかに暮らし安心して逝ける町]づくりを皆さんと一緒に考えたいと思います。

日時：2011年 8月4日(木)  
14:00~16:30 ※13:30開場

会場：牛込区民ホール  
・大江戸線「牛込神楽坂」A1 出口より徒歩0分  
・東西線「神楽坂」2番出口より徒歩10分

参加費：500円

□基調講演  
「看取りを支える医療」  
・松本 武敏(熊本県病舎病院 医師・熊本ドクターネットワーク学術担当)

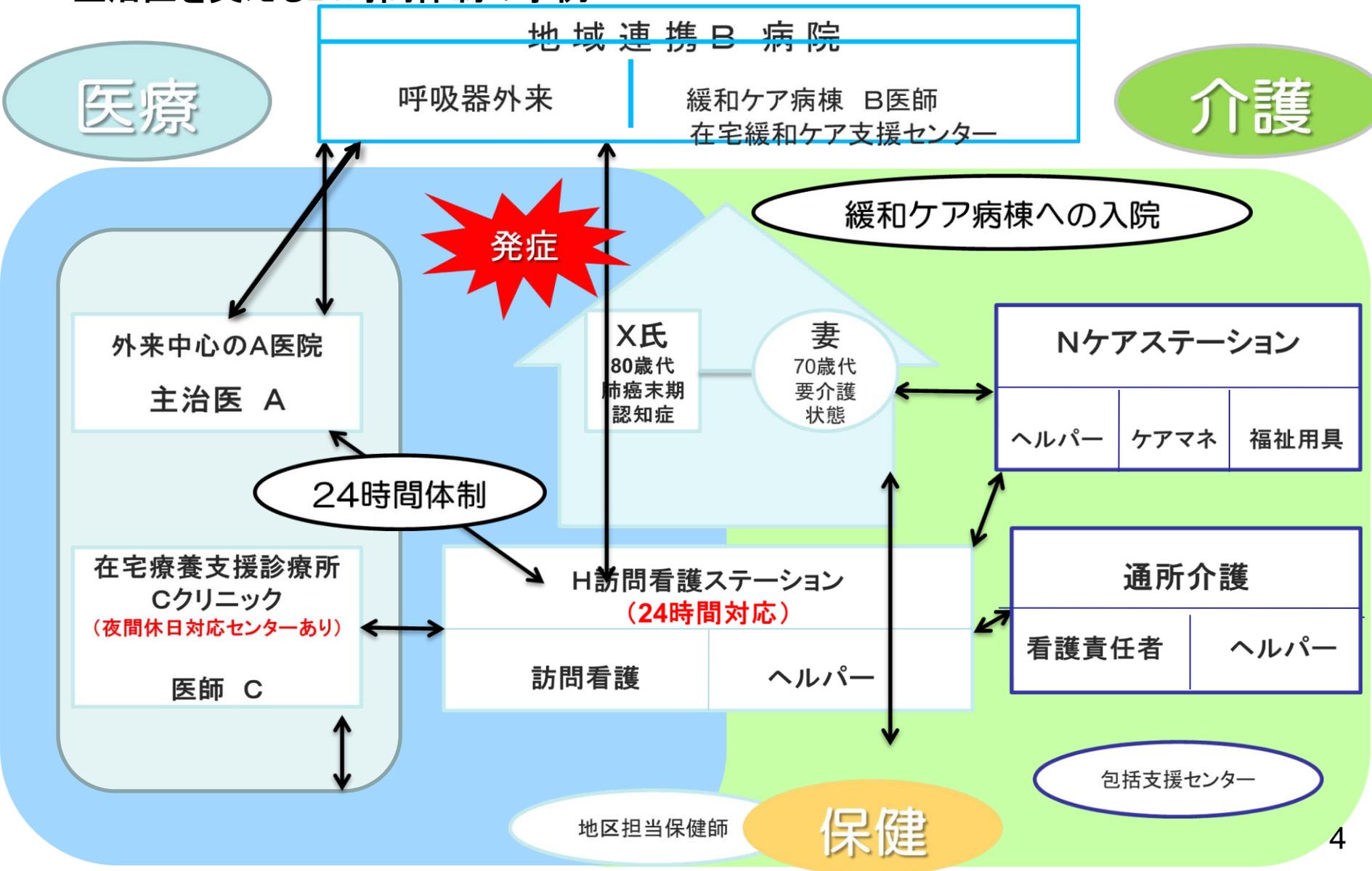
□パネルディスカッション  
・追村 泰成(牛込台ささむら内科 院長)  
・新田 真裕子(白十字訪問看護ステーション 看護師)  
・内田 敬(白十字訪問看護ステーション 理学療法士)  
・在宅で看取りを経験されたご家族

コーディネーター 秋山 正子  
(白十字訪問看護ステーション統括所長・白十字在宅ボランティアの会理事長)

お申込み・お問い合わせ  
NPO法人 白十字在宅ボランティアの会(担当:加藤)  
TEL・FAX 03(5935)7708  
メール vo@unt-hakuji@coact.on.ne.jp  
主催：NPO白十字在宅ボランティアの会  
幹事：白十字訪問看護ステーション 後援：新宿区(予定)

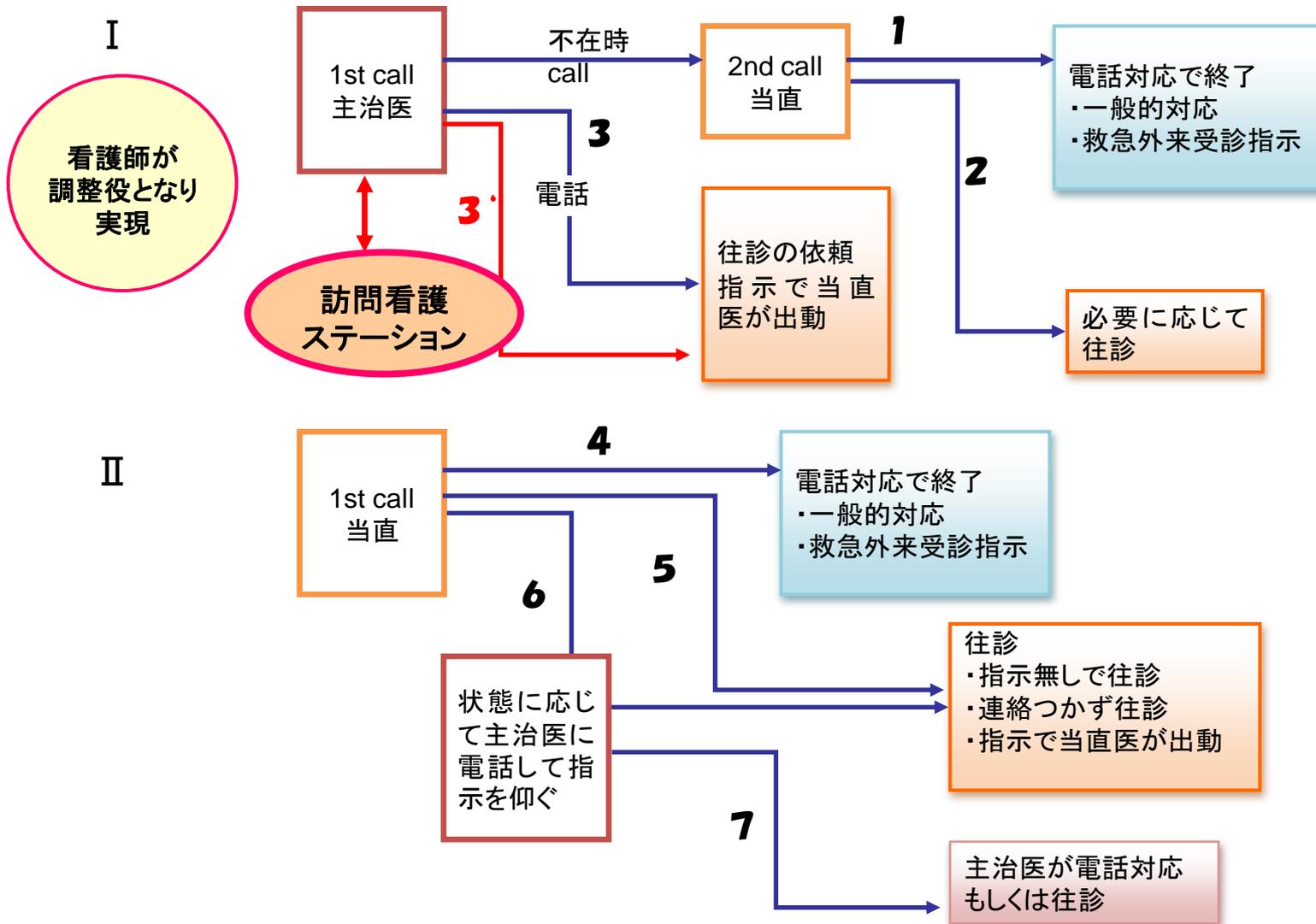
# 在宅医療従事者の負担軽減の支援

## 主治医を支える24時間体制の事例



# 在宅医療従事者の負担軽減の支援

## ① 主治医を支える24時間体制のネットワークづくり



# 多職種連携のための5つの連携会議を開催

※看護職が地域のハブとなってすすめている

## ④多職種連携のためのケース勉強会

月1回、「暮らしの保健室」に寄せられた相談から、地域の医療・介護関係者と情報共有が必要な事例を取り上げ意見交換。

毎回30～40名が参加。



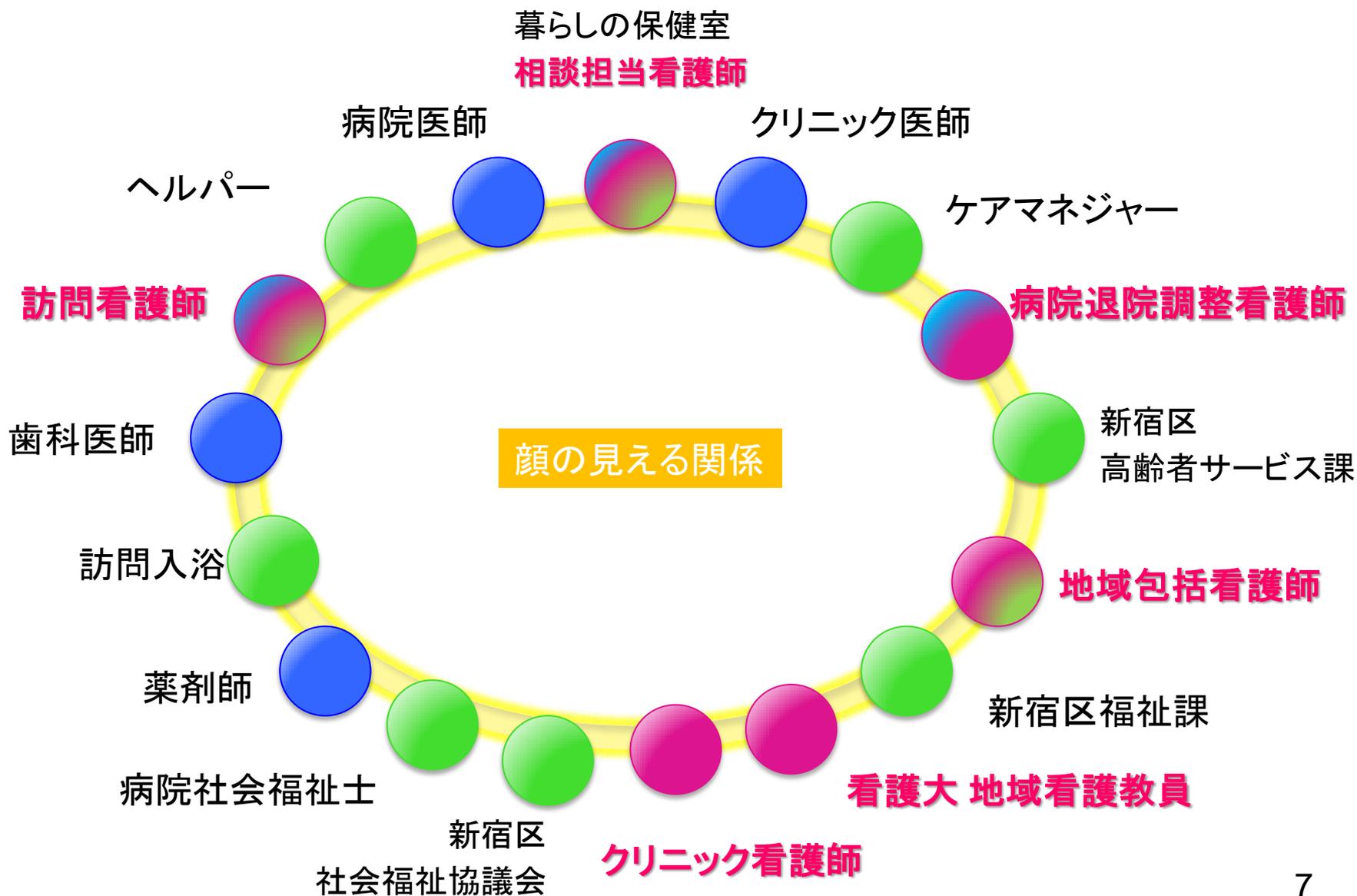
- 7月「相談事例から見える連携の課題」
- 8月「相談事例に見る地域ネットワークの姿」
- 9月「繰り返し相談の事例から見える問題」
- 10月「相談事例に見る地域ネットワークの姿2」
- 11月「急性期から在宅へのつながりの重要性」
- 12月「在宅移行支援におけるネットワークの作り方」
- 1月「身寄りのない独居高齢者の在宅を支えるには」
- 2月「障害を持ちながらのがん闘病者への支援」
- 3月「回復期リハビリテーションへの効果的な連携」

## ⑤個別ケースにおける地域ケア会議

地域の医療と介護にまたがるケアの問題について必要に応じ、関係者によるケア会議を「暮らしの保健室」で開催。

参加者○新宿区障害福祉課、新宿区社会福祉協議会職員、牛込保健センター保健師、地域包括支援センターケアマネ、暮らしの保健室看護師、カウンセラー 等

ケース勉強会の主な参加者 = 多彩な立場の医療 介護関連多職種



# 多職種連携のための会議で課題が明らかに

～ケース勉強会参加者の声より～

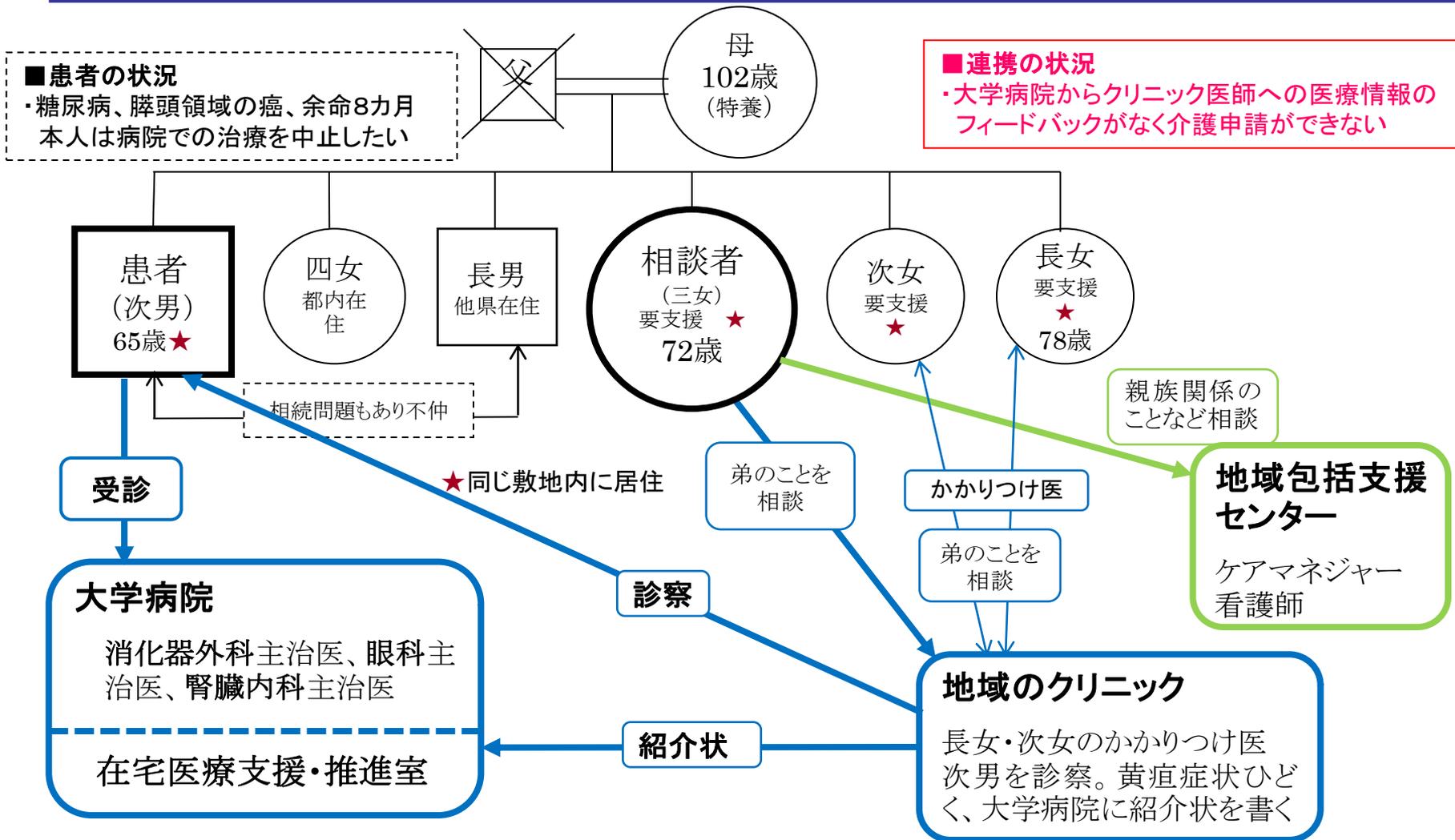
## 病院

- ・高齢者や障害者の不安には、想像していた以上の課題があるとわかった。(看護師)
- ・病院がいかに自己完結的なある意味狭い環境(施設)であるかを実感した。(医師)
- ・生活を支援することの大変さ、複雑さが非常によく分かった。(MSW)
- ・病院の中にいると暮らしの中の問題はやはり見えてこない。病院で関わる立場の者が何ができるのか、考えていきたい。(連携推進室看護師)
- ・「病棟ナース→地域、在宅」がどうなっているのか、十分に見えていない。MSWや訪問看護師(病棟所属)と話す程度で分かったつもりになっていた。(看護師)

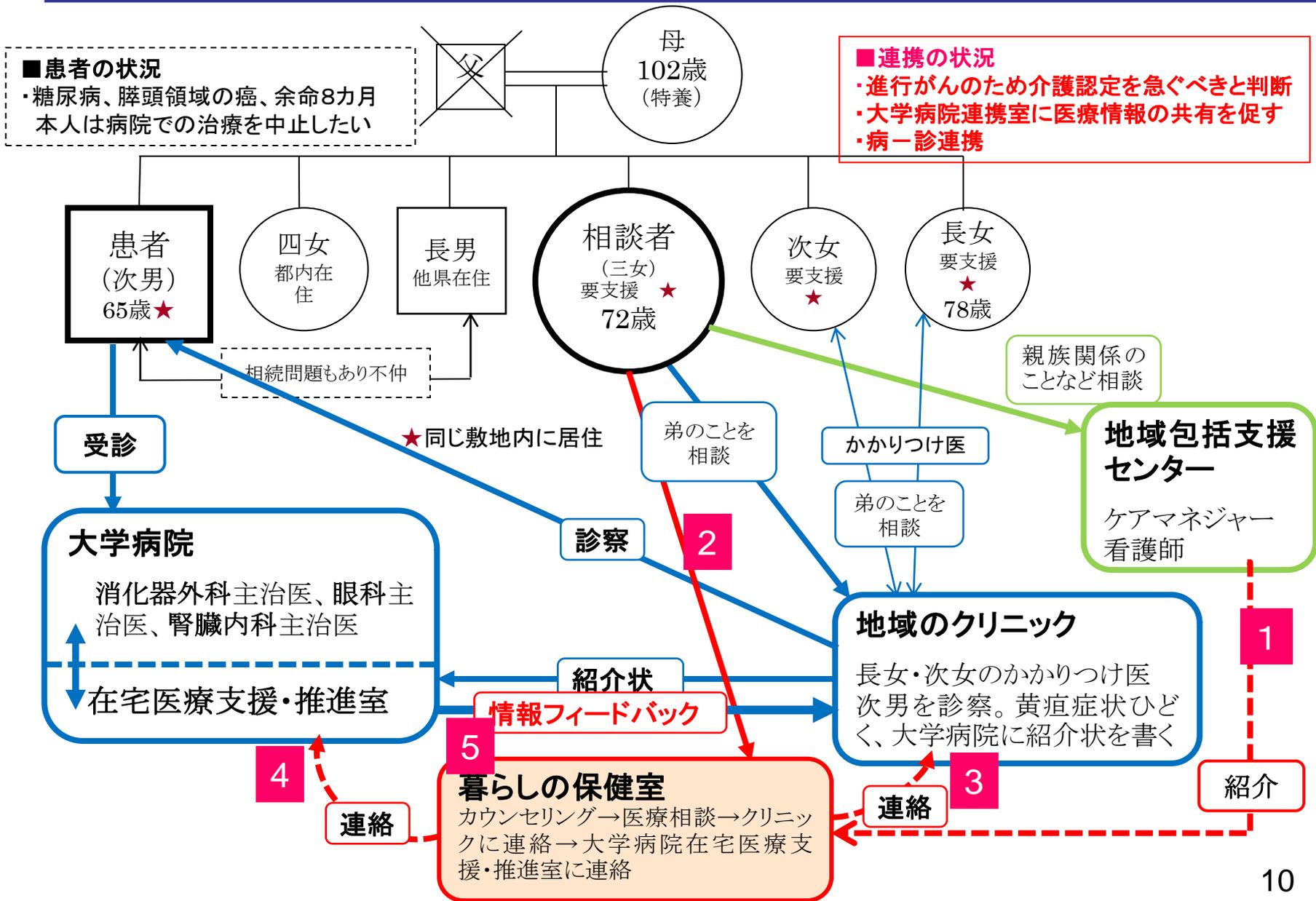
## 介護、地域

- ・実際の在宅の現場で医師がどのように苦勞しているか勉強になった。(ケアマネジャー)
- ・医療的な知識の不足を感じている。(ケアマネジャー)
- ・地域包括支援センター職員は担当ケース対応に追われすぎて世帯支援等幅広く考え対応する余裕ができていない。(地域包括支援センター所長)
- ・公的な支援だけでは支えられない人の支援はとても大切であると同時に難しい。(区保健師)

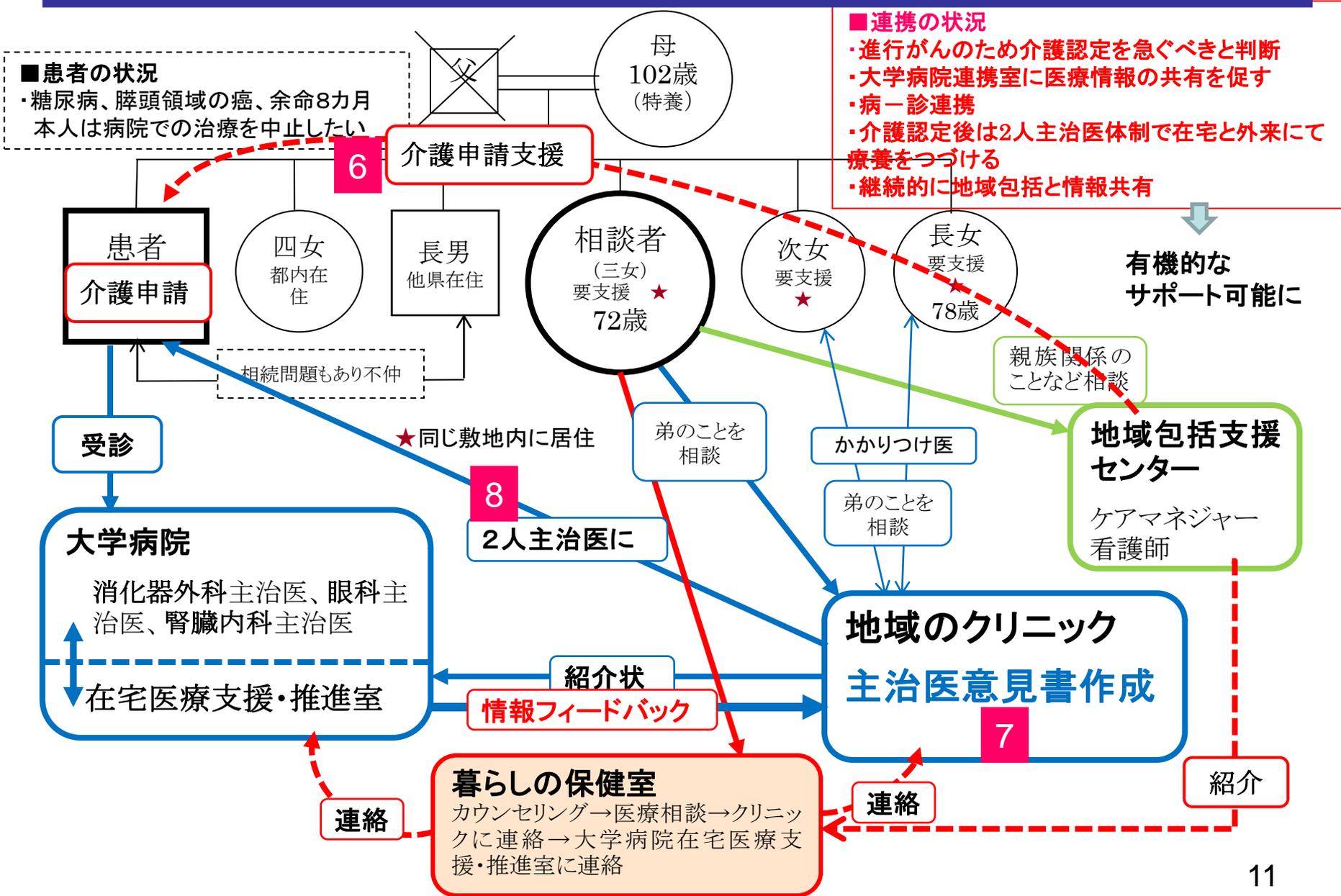
# 事例① 医療情報の共有を促し「病-診-介護連携」をすみやかに進め、在宅療養を支援



事例① 医療情報の共有を促し「病-診-介護連携」をすみやかに進め、在宅療養を支援



事例① 医療情報の共有を促し「病-診 連携」をすみやかに進め、在宅療養を支援



## ② 望ましい情報共有の流れを促進し、在宅療養におけるQOL向上

### ■相談者の受診履歴

K病院消化器内科には受診歴あり。

半年前より飲み込みにくい

→K病院消化器内科受診 **1**

→耳鼻咽喉科にまわされる **2**

→食道は診療範囲外。原因分からず

→地域のNクリニックへ戻される **3**

→血圧の薬がのどにつまる

→地域の耳鼻科クリニックを探して受診 **4**

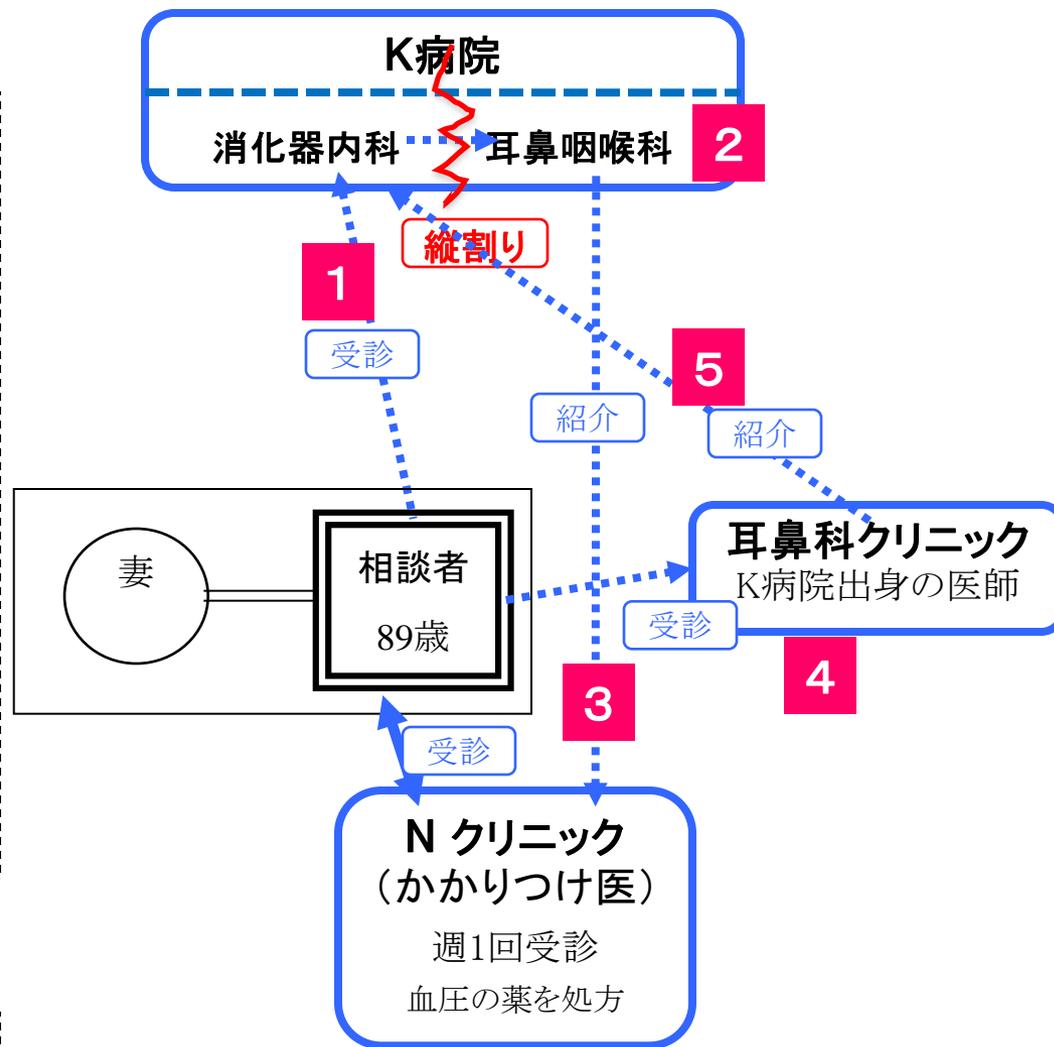
→K病院の消化器内科を紹介される **5**

→自覚症状発現から半年後

食道がんと診断を受ける



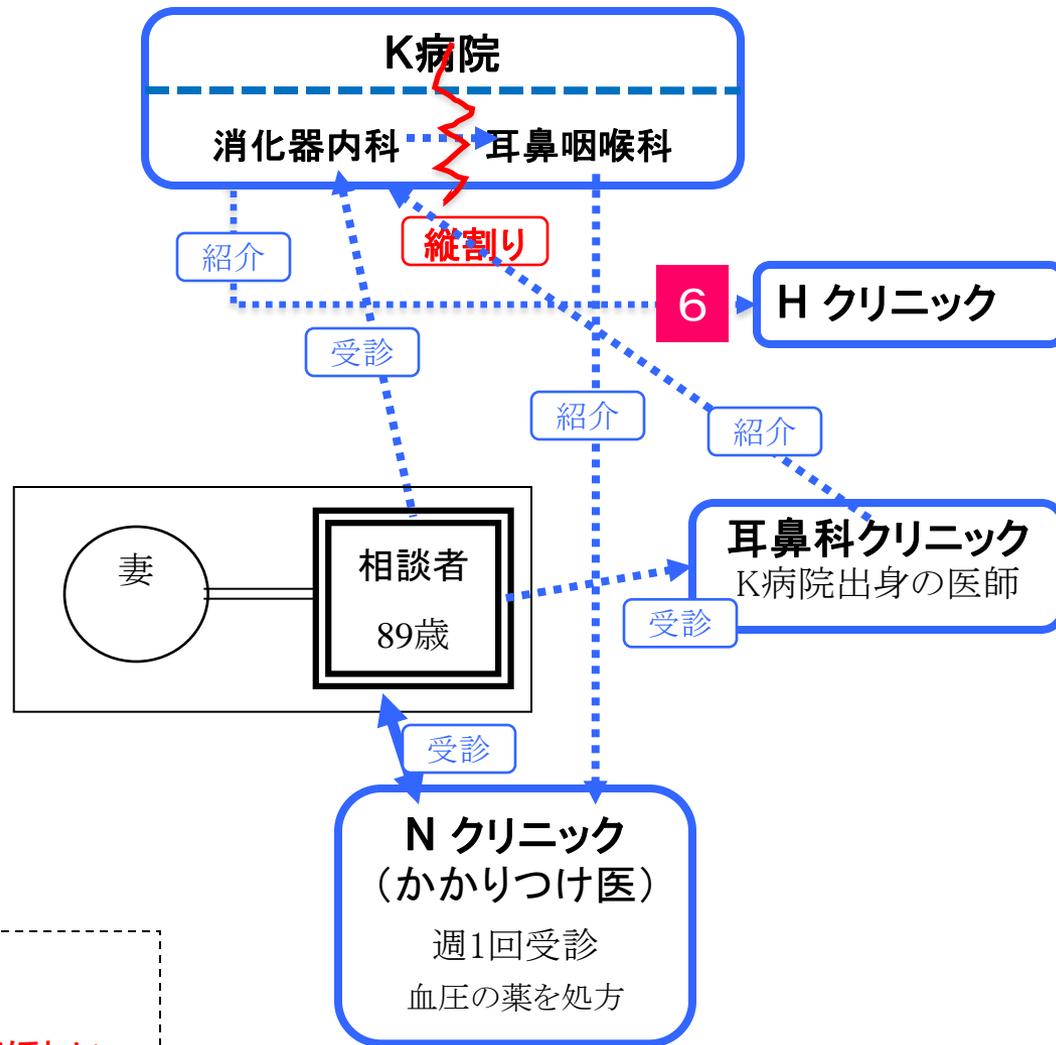
耳が遠くコミュニケーションがとりにくい状態



## ② 望ましい情報共有の流れを促進し、在宅療養におけるQOL向上

### ■相談者の状況＋病院の対応

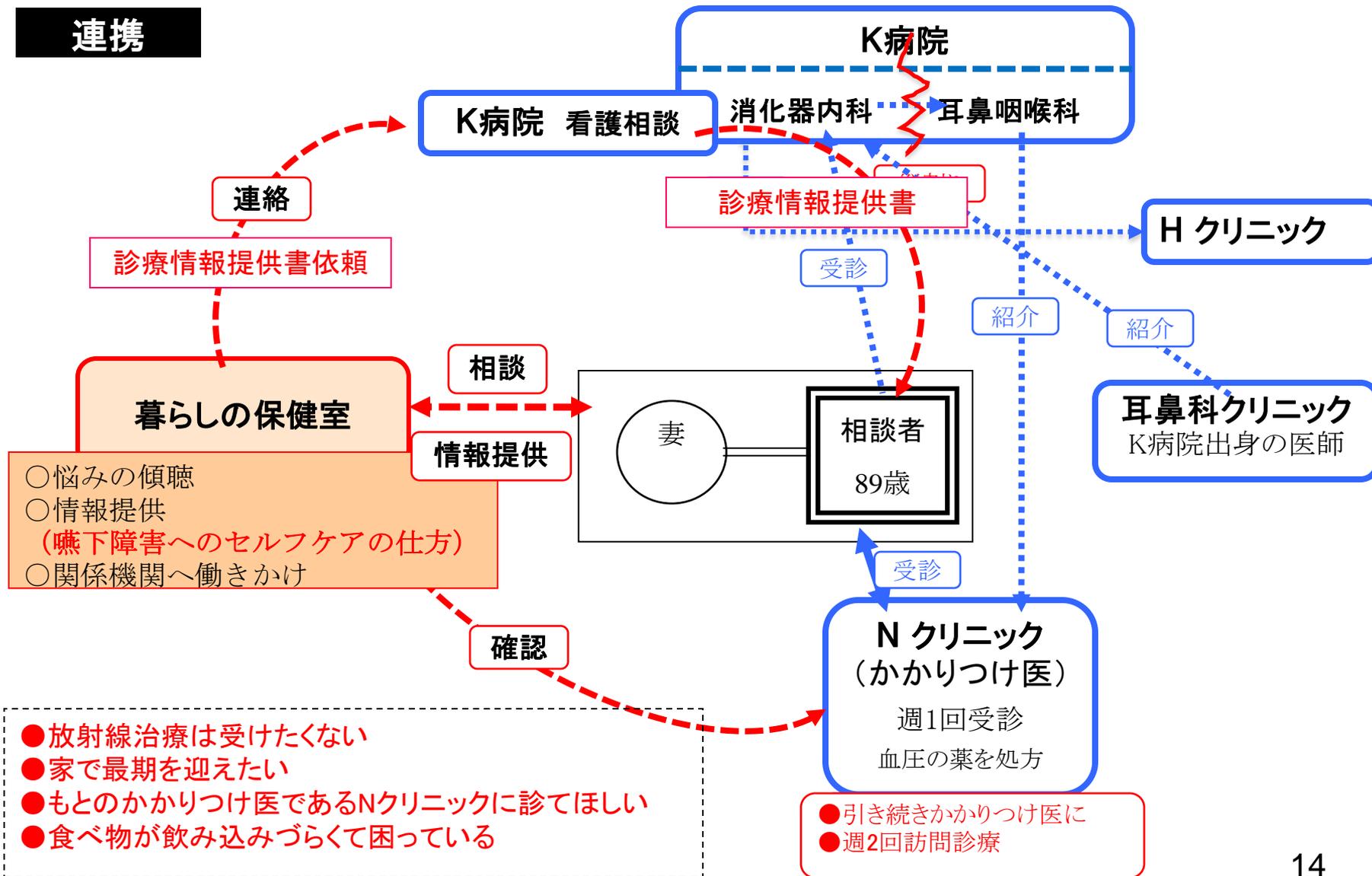
- 説明がよく聞こえないが何度も聞き返せない→病院：医師としては説明したつもり
- 食道がん治療はせずに家で最期を迎えたい→病院：患者が納得したものと捉え、放射線治療の準備＋並行して地域のクリニックを紹介 **6**
- 了解していないうちに放射線治療の台へ。直前で拒否。
- 相談者は病院が勝手に地域のかかりつけ医を決めて紹介したと捉える。
- 嚥下障害がづらいのに対応してもらえない



- 放射線治療は受けたくない
- 家で最期を迎えたい
- もとのかかりつけ医であるNクリニックに診てほしい
- 食べ物が飲み込みづらくて困っている

## ② 望ましい情報共有の流れを促進し、在宅療養におけるQOL向上

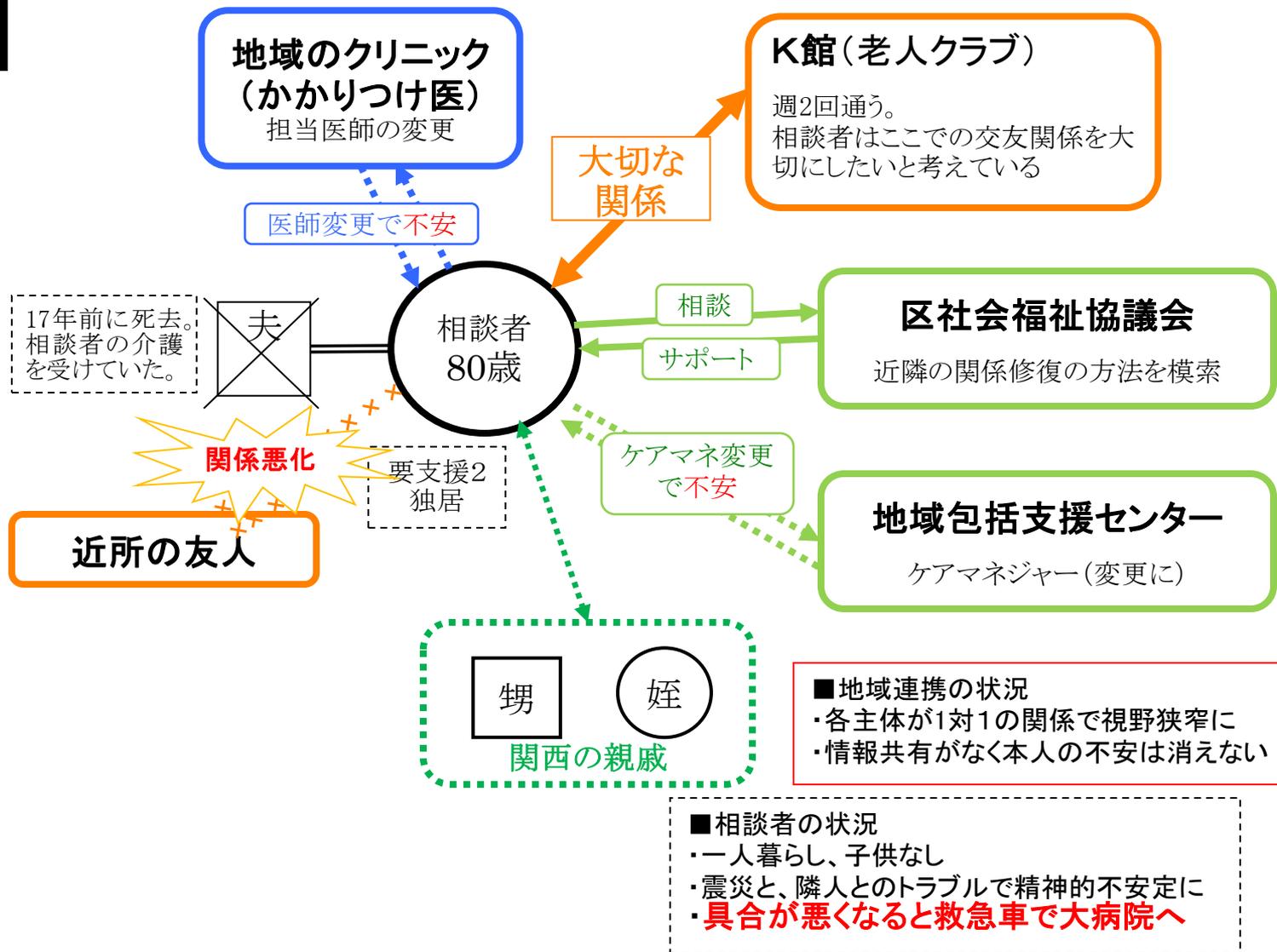
### 連携



# 効果的な連携のための多職種連携

事例② 介護保険適用の境目にある独居高齢者を地域ネットワークの中で支える

## 連携前

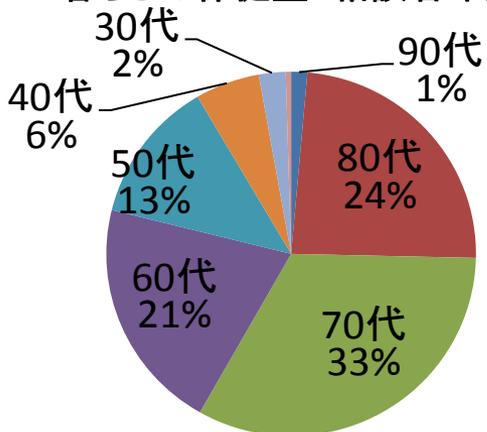




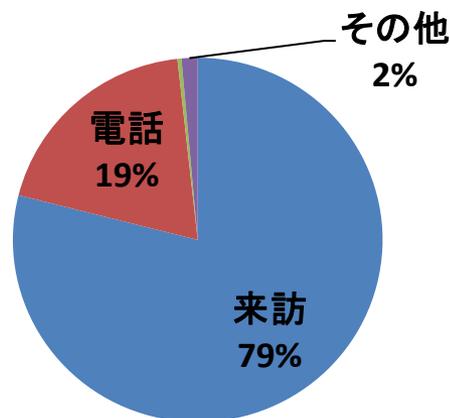
# 既存の行政による相談室との比較

■ 暮らしの保健室 2011年7月～12月 医療相談者：285名（全利用者663名中）

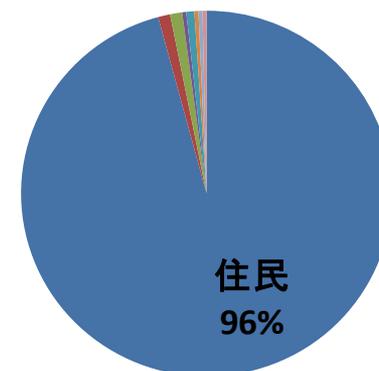
暮らしの保健室 相談者年齢



暮らしの保健室 相談方法



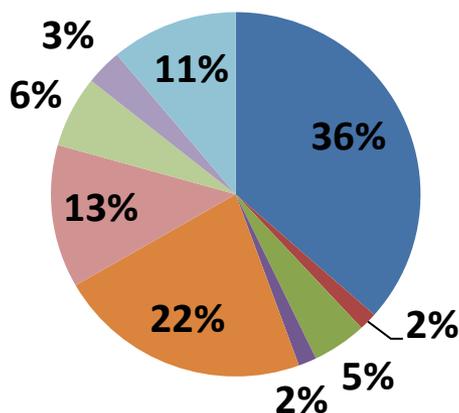
暮らしの保健室相談者属性



■ 行政相談室  
2011年7月～12月  
医療相談者：63名

※行政窓口はすべて電話相談

行政相談室 相談者属性



- 住民
- 医師
- 病院ケースワーカー
- 老人保健施設
- ケアマネジャー
- 高齢者総合相談センター
- 区福祉関係部署
- 保健センター
- その他

# 參考資料

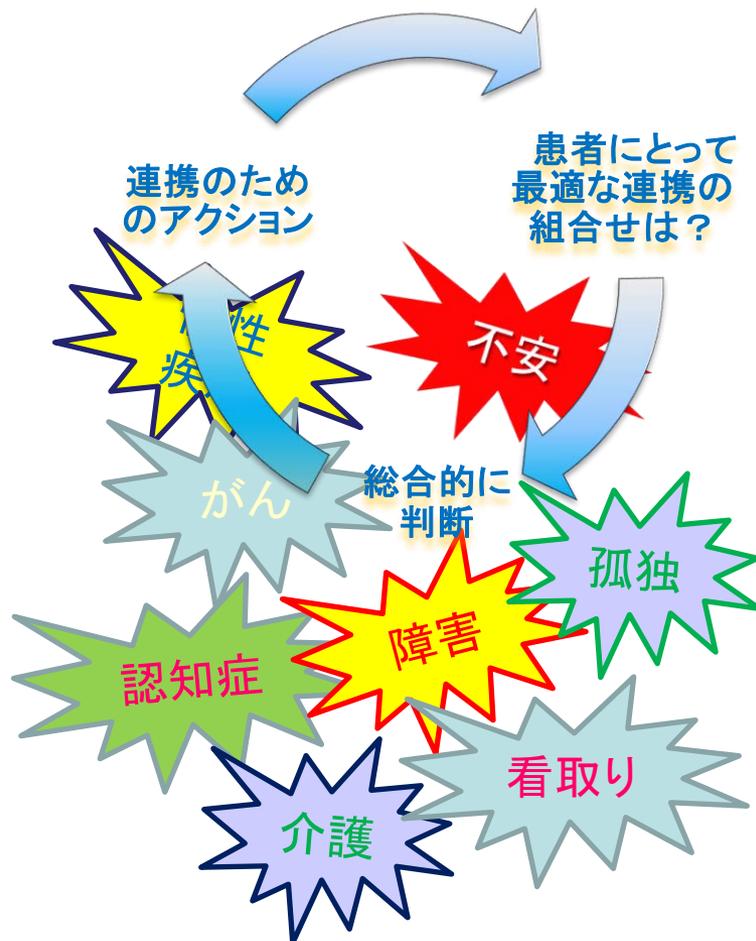
# 効果的な地域連携への道

話をよく聞く

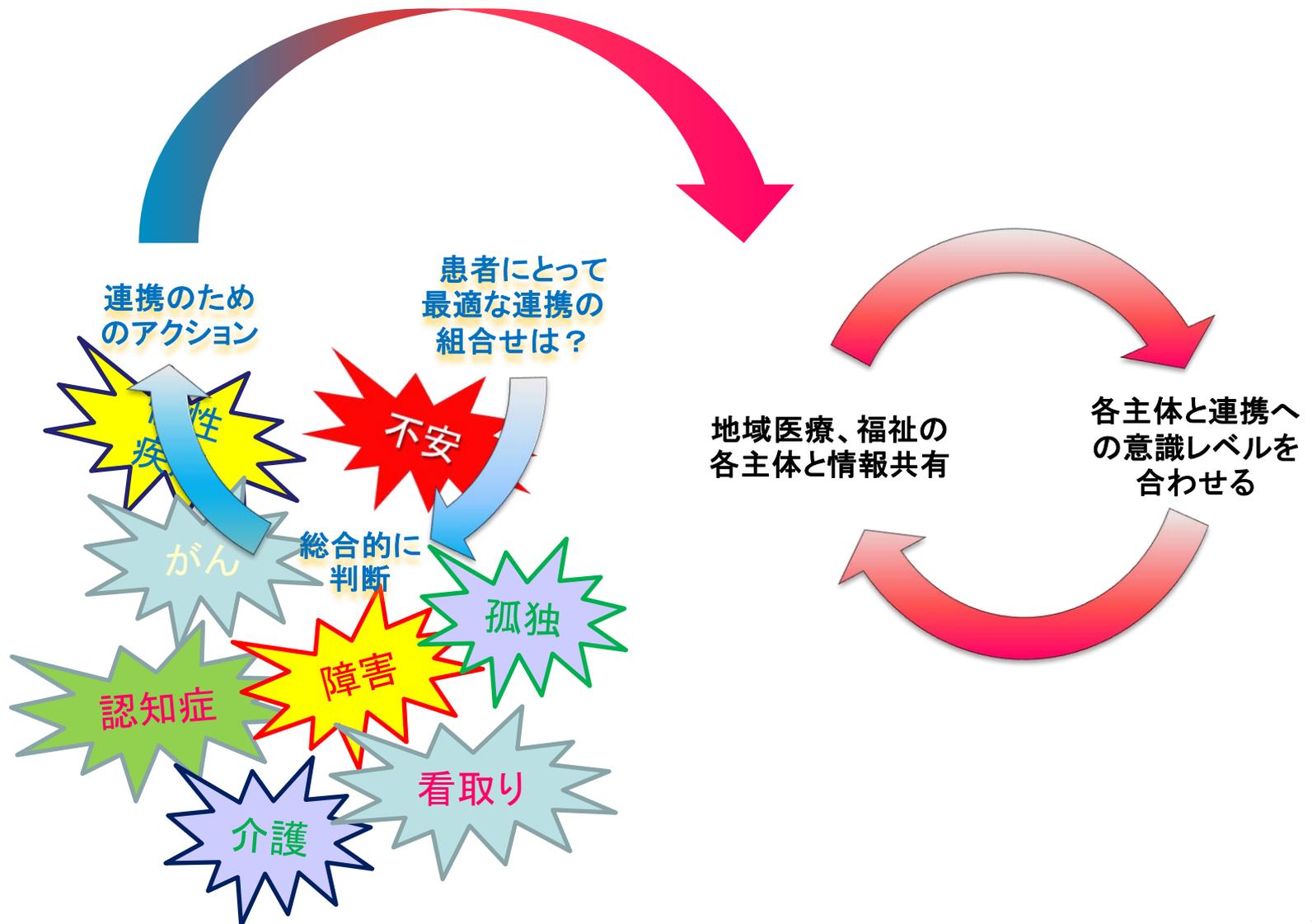
患者の置かれた  
状況の把握



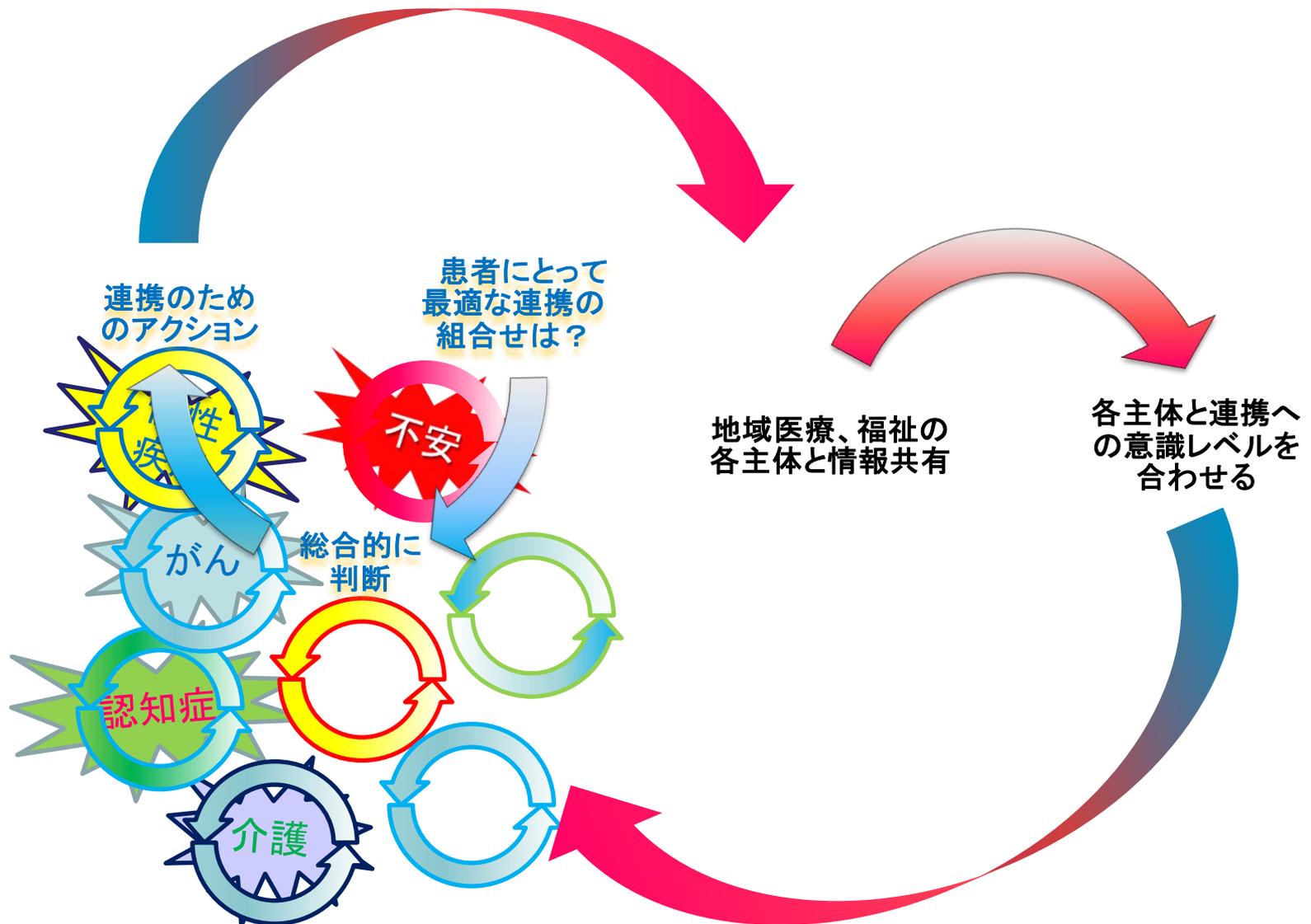
# 効果的な地域連携への道



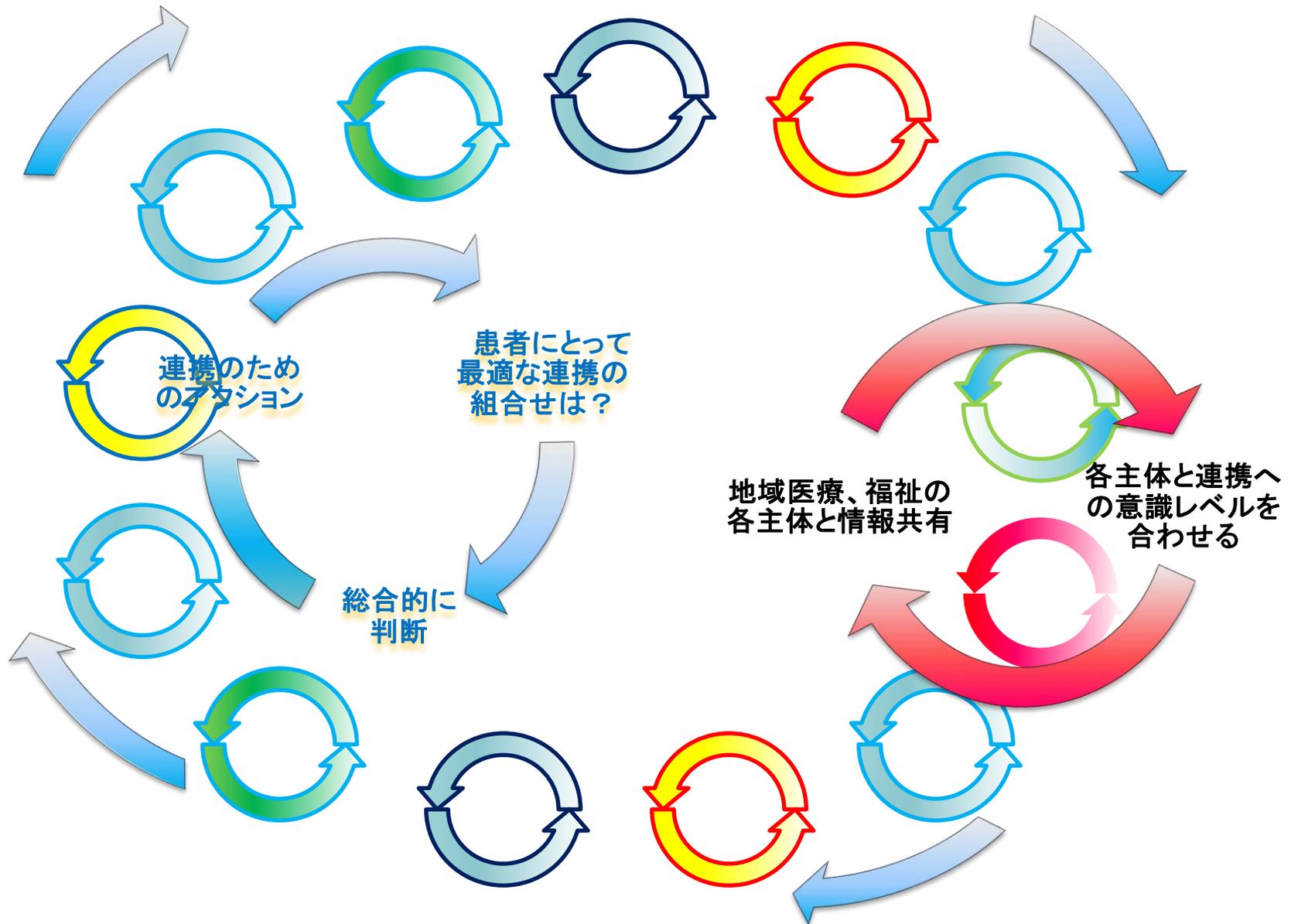
# 効果的な地域連携への道



# 効果的な地域連携への道



# 効果的な地域連携への道



# 効果的な地域連携への道

